

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2024年1月10日

事業所名: ふあんふあん

サービス種類: (例: 児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に対して十分なスペースが確保されている。	「されている」と答えて頂いた保護者が多数であった。	面談時にやブログ、ふあんふあん通信にて部屋の様子を見て頂くように周知していきます。
	2 職員の適切な配置	基準に沿った職員の配置が出来ている。	基準の配置がわからないという意見があった。	基準は満たしているが求人を経続的に行っていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	障害特性(麻痺等)に応じてバリアフリー化は出来ていない。	「はい」という意見が多かったが「どちらともいえない」という意見もあった。	利用している児童にとってより良い環境作りを目指して今後も取り組んでいきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	活動スペースが1階、2階とあるため、活動、お子様の状況に応じて空間を利用できる。	「はい」との回答が多かった。	感染対策にのっとり掃除、消毒、換気を継続して行っていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	出来ていない。		具体的に今の段階で計画はありません。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施出来ていない。		具体的に今の段階で計画はありません。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修にて虐待、感染症等研修を実施している。		ZOOM研修や外部、内部の研修を継続して実施。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	個別面談時において聞き取りをしてどうサポートするかを踏まえたうえで計画を作成している。		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの支援に必要な課題の設定等具体的に支援計画内容の記載を行っている。	「はい」という意見が多かったが「どちらともいえない」という意見もあった。	保護者面談時に聞き取りをしてPDCLサイクルに基づいて作成している。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもの支援に必要な項目の設定や具体的な支援内容の記載を念頭において作成している。	保護者面談時に聞き取りをしてPDCLサイクルに基づいて作成している。	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援員にアドバイスをして個別支援計画に沿った支援を目指している。	「はい」という回答と同じに「わからない」「どちらともいえない」という回答もあった。	個別支援計画を会議のなどでスタッフに周知して資質向上をはかる。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎月壁面制作を楽しんで出来るように考えて取り組むことが出来るように内容を検討して計画を立てている。		来所時間がまちまちなことが多く、なかなか集団で活動をするということが難しく個別で支援している。休日は色々なことを経験出来るように支援していく。中学生が多くなってきているので生活するうえで必要な力を伸ばしていけるようにサポートする。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日:子ども達が高学年になってきて来所時間が遅くなったため何かをすることは難しいのが現状。休日や長期休暇などは色々なプログラムを計画して実施している。	「はい」という回答が多数を占めているが「わからない」という意見も多数あった。	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	長期休暇や休日と平日では内容が違ったプログラムを実施。課外活動を実施する時もある。		毎月、会議にて計画をしている。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	業務前に職員とミーティングを実施して送迎の確認や前日の様子を共有している。		毎日ミーティングを行い共有をしている。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	業務終了後翌日に報告、確認をして情報の共有を行う。		毎日ミーティングを行い共有をしている。
	10	日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	当日の様子や活動の内容などを日誌形式で記録して保存する。サービス提供記録として連絡帳を活用。連絡帳は事業所にて保存。希望される保護者にはコピーを渡している。		当日の様子の記録を日誌形式で記録している。保護者の方にはサービス提供記録として連絡帳を活用している。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一度モニタリングを実施。必要に応じて半年以内でも実施している。		事業所に来ていただいて実施。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達管理責任者が会議に出席しているがいけない時には代理者が出席している。	会議があれば参加している。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	受給者証の更新や面談の時に相談支援計画の見直しなどに同席させてもらい情報を共有している。	相談支援事業所との連携を図り具体的かつ継続的に支援できるように働きかけていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	情報を収集して適宜情報の共有を行う。	情報提供の要請や依頼があれば保護者の方の許可を頂き、情報を提供させていただきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて実施検討している。	積極的に研修に参加していきます。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施していない。	「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」という回答が多かった。また、交

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施していない。普段から近隣の住人の方には挨拶を行う。苦情があれば迅速に対応して地域の方に受け入れられるようにする。	流の必要があるのかわからないという回答もあった。	挨拶の徹底や苦情があった時には迅速に対応していきます。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時において説明している。	「はい」という回答が多かった。	契約時において説明はしていきます。その都度質問があればお答えさせていただきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談時に丁寧に意識して取り組んでいる。	「はい」という回答が多かった。	面談において適切に説明していきます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施していない。	「いいえ」「わからない」という回答が多かった。	ペアートレーニングは実施していない。保護者の方に寄り添い問題解決できるように取り組みます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や何か気になることがあるときなどには必要に応じて電話において子供の様子などを情報共有することを心掛けている。	「はい」という回答が多かった。	連絡帳や送迎時に様子をお伝えしています。共通理解に向けて取り組んでいきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	連絡帳や送迎時に話をしているが不十分である。	「はい」という回答が多かった。	随時相談を受けれるようにしていきます。面談時においても伝えていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していないが必要であるとは考えている。	「いいえ」「わからない」という回答が多かった。	交流会や茶話会等実施していけるように検討していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	保護者の方からの苦情については必要に応じて説明等実施して迅速な対応を心掛けている。	「わからない」という回答が多かった。	意見の内容によりますが、個別対応や手紙にてお知らせ報告をさせていただきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々に対応している。	「はい」という回答が多かった。	個々に対応していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月一回活動の様子や写真を活用してお便りを発行。また、月2回のブログの更新を行っている。	「はい」という回答が多かった。	月一回、活動様子がわかる会報を発行しています。月二回のブログの更新を行い子ども達の様子がわかるようにしています。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	ブログでは顔を出さないようにしている。	「はい」という回答が多かった。	会議において個人情報についての取り扱いの意識向上をはかっていきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時の避難場所、連絡手段については保護者に配布している。	「はい」という回答が多かった。	面談時において避難場所災害時の対応など説明していきます。警報の時には会社で判断して対応している。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	去年も実施したが今年度も11月に実施した。	「はい」という回答が多かったが「わからない」という回答も多数あった。	年一回は必ず計画して実施しています。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	職場内研修を実施。毎月、職員の行動をチェックしてもらい、会議で話し合いをしている。		ZOOM研修や外部、内部の研修を継続して実施していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束については現状必要としていない、また、予定もない。現在、保護者の方には利用時の説明においても十分に説明をし、方がーそのような事態になれば、経緯も含めて管理者、児童発達支援管理者により説明する旨を伝えている。		必要に応じて対応するが現在は身体拘束の必要もない。ただ、緊急時などでその必要性が出てきた場合は、保護者の方に十分な説明を行います。また、個別支援計画にも記載しています。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	指示書がある子供が現在利用されていない。		アレルギーのある児童はいるので、おやつを提供時に配慮しています。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	作成できていない。		危機管理研修にて活用できる体制にしていきます。